

【教育目標】

○自ら考え正しく判断できる生徒 ○心豊かで最後までやり抜く生徒 ○健康で活力ある生徒

福島県南相馬市立原町第一中学校

# 原一中だより

第 8 号      令和5年11月27日（月）発行

令和5年度 重点目標      未来をみつめ      ともに学び      高め合える生徒

## 実を結ぶ秋


10月27日（金）・28日（土）、第39回文化祭が2日間に渡って開催され、生徒・教職員・保護者のすべてが、4年ぶりに一堂に会しての行事を心から楽しみました。

文化祭実行委員が企画した開祭式、特別企画、閉祭式、最優秀賞獲得を目指して競い合った合唱コンクール、聞き手を魅了した各学年の総合学習発表、有志による圧巻のパフォーマンス、吹奏楽部のステキな演奏会など、原町一中の伝統と創造性が爆発した記憶に残る行事となりました。


テーマであった「結」～楽しいカタチ～が実現された、まさに実を結ぶ秋となりました。今月、実を結ぶことにつながる様々な行事が行われましたので、その中の2つを紹介します。

**■その1 「道徳教育地区別推進協議会」**

今年度、本校は県教育委員会から相双域内の道徳教育の推進校に指定され、大学の教授や県教育委員会の指導主事からの指導助言をいただきながら研究を進めています。11月10日（金）、その研究の成果を相双の小・中・高校の教員に発表する協議会が開かれ、30名近くの関係者が来校しました。生徒たちが積極的に意見交換をする様子を見て、「県内でこんなに意見を交わす中学生を見たことがない。すごいですね。」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。



**■その2 「夢前案内人講座」**



11月14日（火）、福島県立医科大学教授、坪倉正治先生を講師としてお招きして「夢前案内人講座」が開催されました。

この講座は、NPO法人はらまちクラブ理事長の江本様からご紹介をいただき実現したものです。子どもたちの夢の扉を開いたり、広げたりするため、仕事の最前線で活躍する大人から学ぶことを目的として開かれ、全校生が「自分を振り返る・見つめ直す」貴重な時間となりました。

生徒の感想を紹介します。

- ★医療に関わる仕事に就いてみたいと思い、夢の幅が広がりました。（1年生）
- ★これからは傍観者にはならず、人の役に立てるように積極的に手伝いや人のためになることをやろうと思いました。（1年生）
- ★無責任な発言をせず、物事にしっかりと向き合って行動したいと思った。（2年生）
- ★これから出てくるであろう問題や課題について自分から考え、それを世界に発信していきたいと思いました。（2年生）
- ★視野を広げて様々な事に取り組むことの重要さと、これからの自分の生き方についてのアドバイスをいただきました。（3年生）
- ★これからの生活の中で何か困難なことがあっても、誰かの助けを待つのではなく、自分ができることを探し積極的に行動しようと思いました。（3年生）